

## 行政調査報告書「未来型施設整備研究特別委員会」

令和4年10月5日～7日

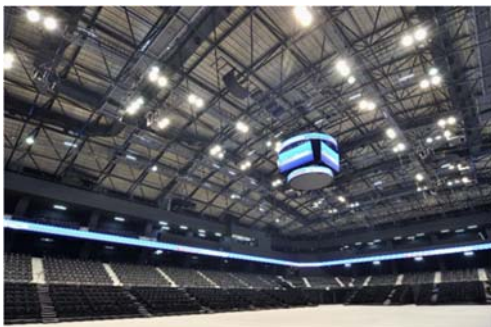
### ■神奈川県茅ヶ崎市 『公民連携の取組について』

「ランチ茅ヶ崎1・2・3」は、市役所出張所、保育園、図書室などの公共施設と、スーパーマーケット、飲食店などの商業施設からなる施設である。また、地域の人々が利用できる「コミュニティルーム」を併設している。ランチ茅ヶ崎1は、茅ヶ崎市の土地を大和リース（株）が30年の定期借地で借り受けて事業展開している。公共施設分は、市が大和リース（株）に賃料を支払っている。



ランチ茅ヶ崎2・3は、UR都市機構の土地を大和リース（株）が30年の定期借地で借り受けて事業展開している。行政による財政資金の効率的な投入や施設整備の効率化が図られており、本市においても柔軟な手法を検討する時期に来ていると感じた。

### ■ゼビオアリーナ仙台（宮城県仙台市） 『アリーナの整備について』



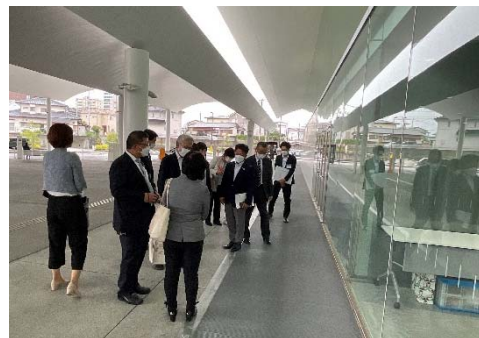
「仙台市あすと長町土地区画整理事業」の一環で平成24年10月、日本初の総合エンターテインメントアリーナスタジアムとして「ゼビオアリーナ仙台」は開業した。土地は仙台市所有で、20年の定期借地契約をゼビオ（株）と結び、ゼビオ（株）がアリーナを建設している。バスケット興行だけでは収益が見込めないことから、バスケット以外のスポーツ、コンサート、各種イベントの

ニーズを獲得するため、6面マルチビジョン、リボンビジョン、VIPルームなどの設備をアピールし、収益確保に努めている。

これらを踏まえ、本市に建設されるアリーナに対して前向きな提言をしていきたい。

### ■茨城県日立市 『庁舎の建設について』

敷地内に流れていた数沢川にボックスカルバートを新設して、ルートを変更することで、新庁舎の配置が決定した。災害対策本部室が常設され、市内の天気予報のための専門職員が配置されるなど災害に備える防災拠点機能の充実した新庁舎である。庁舎中央の執務スペースは、フレキシブルに活用できるように間仕切りのないオープン型で、南北に執務空間を形成したことで効率的に自然採光が取り入



れられている。本市での庁舎建設の際は、平時、災害時を問わず様々に活用できる大屋根、中庭広場、エントランス広場の設置を検討したいと感じた。